

令和元年度ホタテガイ採苗情報（第3報）

令和元年5月10日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



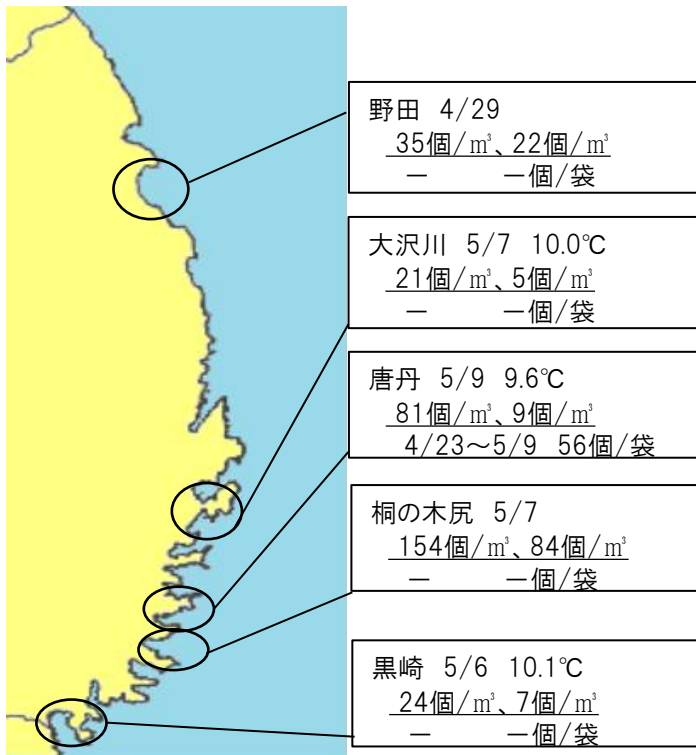
県内全域でホタテガイラーバが出現しています。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は9.6℃で、透明度は8.0mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバの出現が継続しています。
- 全県的にホタテガイラーバの出現が確認されています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは56個体（4/23～5/9）のホタテガイ稚貝が付着していました（1週間当たり24個体の付着）。
- 採苗器投入に向け、準備を進めてください。

< 青森県の状況（5月9日発行ホタテガイ採苗速報（第6号）） >

付着直前の260ミクロン以上の大型ラーバの出現数と試験採苗器への付着数が増加している状況。全湾で採苗器の投入を完了するよう呼びかけ。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月16日頃に
発行する予定です。

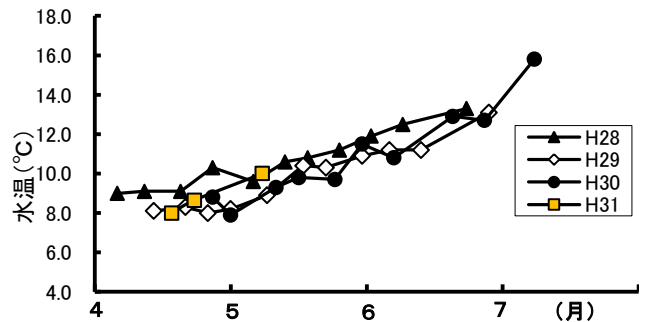


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

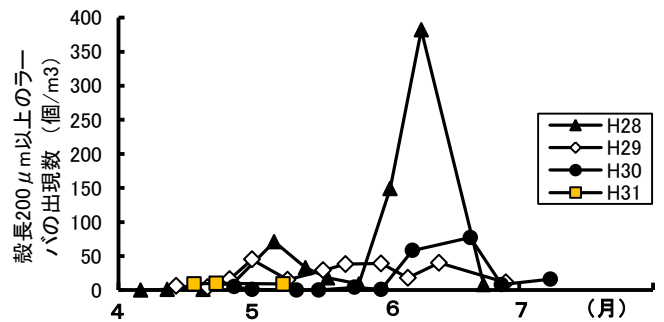


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

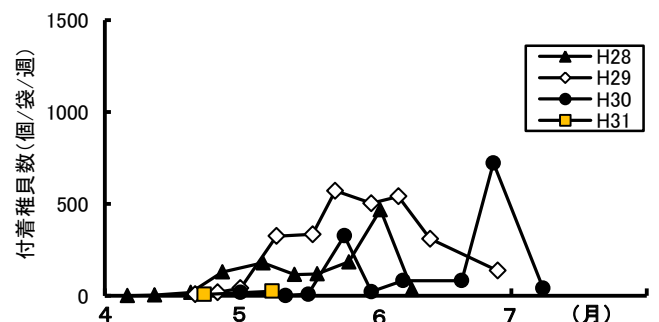


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数